

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | 身体拘束については、できる限り身体拘束を行わない方向でケアに取り組んでいるが、転倒事故に繋がる危険の大きい方については、ベッドの4点柵を使用させて頂いている方もいる。また、実施に当たり話し合いや家族の承諾は得ているが詳細についての記録がない。 | 身体拘束について全職員が理解し、実施に当たり行った話し合いの内容や研修の記録を書く事ができる。 | 身体拘束の廃止に向けた研修の際、記録の書き方についても皆で勉強する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 26 | 介護計画作成については計画作成担当者だけではなく他職員もアセスメント、モニタリングを行い、看護師の意見も反映させて介護計画を作成しているが、介護計画に基づくサービス提供の記録となっていない。 | 全職員が個々の介護計画書について内容を把握し、介護計画に基づく介護記録が書けるようになる。 | 介護記録の書き方についての研修へ参加したり、全職員で勉強会を行う。 | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 火災を想定した夜間想定避難訓練は行っているが、災害(地震、水害)を想定した夜間想定避難訓練は行っていない。 | 夜間、火災やその他の災害が起きた際、利用者を安全に避難させる事ができる。 | 火災、地震、水害などを想定し各々の場合の避難方法のマニュアルを作成し夜間を想定した訓練を実施する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。